

WG 活動報告

18: ドナー別(血縁・非血縁)・移植細胞ソース別(骨髄・末梢血・さい帯血)による移植成績

① WG メンバーリスト

氏名	所属	診療科
責任者 宮村 耕一	名古屋第一赤十字病院	血液内科
田中 正嗣	公立大学法人横浜市立大学附属市民総合医療センター	血液内科
加藤 俊一	東海大学医学部付属病院	小児科・細胞移植科
寺倉 精太郎	名古屋大学医学部附属病院	血液内科
小林 武	がん・感染症センター 都立駒込病院	血液内科
塚田 信弘	日本赤十字社医療センター	血液内科
鎌塚 八千代	Medical College of Wisconsin (名古屋大学医学部附属病院)	Center for International Blood and Marrow Transplant Research (名大:血液内科)
永田 泰之	浜松医科大学	血液内科
諫田 淳也	自治医科大学附属さいたま医療センター	血液科
神田 善伸	自治医科大学附属さいたま医療センター	血液科
森島 泰雄	愛知県がんセンター研究所	疫学・予防部
渡邊 修大	社会保険中京病院	小児科
藤田 直人	広島赤十字・原爆病院	小児科
薬師神 公和	神戸大学医学部附属病院	腫瘍・血液内科
内田 直之	国家公務員共済組合連合会 虎の門病院	血液内科
吾郷 浩厚	島根県立中央病院	血液腫瘍科
小川 淳	新潟県立がんセンター新潟病院	小児科
瀬尾 幸子	Fred Hutchinson CRC	Infectious Disease Division
田口 潤	長崎大学病院	血液内科(原研内科)
熱田 由子	名古屋大学医学部附属病院	造血細胞移植情報管理・生物統計学
坂口 大俊	名古屋第一赤十字病院	小児医療センター 血液腫瘍科
谷口 修一	国家公務員共済組合連合会 虎の門病院	血液内科
今井 陽俊	札幌北榆病院	内科
澤 正史	安城更生病院	血液・腫瘍内科
加藤 光次	九州大学病院	血液腫瘍内科(第一内科)
三田村 真	ザイオソフト	
松野 良介	昭和大学藤が丘病院	小児科
森島 聡子	藤田保健衛生大学病院	血液内科・化学療法科
田淵 健	がん・感染症センター都立駒込病院	小児科
角南 一貴	独立行政法人国立病院機構 岡山医療センター	血液内科
西脇 聡史	名古屋大学医学部附属病院	血液内科

松本 公一	名古屋第一赤十字病院	小児医療センター 血液腫瘍科
三原 英嗣	愛知医科大学病院	血液内科
屋部 登志雄	東京都赤十字血液センター	製剤部製剤三課 製剤一係長
長藤 宏司	久留米大学病院	血液・腫瘍内科
木村 文彦	防衛医科大学校	血液内科
石山 謙	東京都立大塚病院(東京都立駒込病院)	血液内科(輸血科)
今橋 伸彦	名古屋大学大学院医学系研究科	血液・腫瘍内科学
南谷 泰仁	東京大学医学部附属病院	血液・腫瘍内科

② 2012年12月末時点で承認された研究、及び業績一覧

18-1	「非血縁骨髄移植と非血縁臍帯血移植の比較研究(若年成人)」PI: 寺倉精太郎
学会発表・論文業績:	
18-2	「年齢、体重、性別、疾患別にみたドナー別・ソース別の造血細胞移植実施状況と成績比較」PI: 加藤俊一
学会発表:	
1. Shunichi Kato, ASBMT、2011年2月、(Honolulu)(招待講演) Hematopoietic stem cell transplantation in children in Japan.	
2. 加藤俊一、日本医学会総会、2011年4月、東京(教育講演)造血幹細胞移植の現状と展望。 * 東日本大震災のために、総会自体は開催されずに、web講演となっています。	
3. 加藤俊一、第54回日本小児血液・がん学会総会、2012年12月、横浜(会長講演) ; 小児造血細胞移植。	
論文業績: 今年総説として掲載予定です。	
18-4	「非血縁者間移植の至適ドナーの検討を目的とした国際共同研究」PI: 鍛塚八千代
学会発表: EBMT 2013 予定	
論文業績:	
18-6	「急性白血病、慢性白血病急性転化および骨髄異形成症候群に対する同種造血幹細胞移植における移植ソースの影響および化学療法との比較」PI: 田中正嗣
学会発表・論文業績:	
18-7	「小児領域におけるドナー別(血縁・非血縁)・移植細胞ソース別(骨髄・臍帯血)による移植成績」PI: 渡邊修大
学会発表:	
論文業績: IJH 投稿中	
18-8	「非血縁者間臍帯血移植とGVH方向1抗原以内不適合血縁者間移植の移植成績の比較」PI: 諫田淳也
学会発表: 諫田淳也 他 第74回日本血液学会学術集会(平成24年10月19日-10月21日)国立京都国際会館	
論文業績: Kanda J, Ichinohe T, Kato S, Uchida N, Terakura S, Fukuda T, Hidaka M, Ueda Y, Kondo T, Taniguchi S, Takahashi S, Nagamura-Inoue T, Tanaka J, Atsuta Y, Miyamura K, Kanda Y. Unrelated cord blood transplantation vs related transplantation with HLA 1-antigen mismatch in the graft-versus-host direction. Leukemia. 2012 Jul 18. [Epub ahead of print]	
18-9	「ABO血液型不適合が同種移植成績に与える影響-移植細胞ソースによる違い」PI: 木村文彦
学会発表: 木村文彦 他 第74回日本血液学会学術集会(平成24年10月19日-10月21日)国立京都国際会館	

論文業績:	
18-10	「重症再生不良性貧血に対する血縁者間造血細胞移植成績の国際比較」 PI:木村文彦
学会発表・論文業績:	
18-11	「非血縁者間骨髄移植におけるドナー年齢と移植成績およびその結果に基づいた臍帯血移植との比較」 PI:瀬尾幸子
学会発表・論文業績:	
18-12	「HLA 一致血縁ドナーからの成人造血悪性腫瘍に対する骨髄破壊的前処置による同種造血幹細胞移植 移植 ソース 骨髄と末梢血幹細胞の比較」 PI:長藤宏司
学会発表:長藤宏司 他 第 74 回日本血液学会学術集会(平成 24 年 10 月 19 日-10 月 21 日) 国立京都国際会館	
論文業績:	
18-13	「HLA 適合血縁者間骨髄移植・末梢血幹細胞移植後の急性 GVHD — 人種および移植源による比較」 PI:諫田淳也
学会発表・論文業績:	

③ 会議開催記録(2012 年 1 月-12 月)

日時	場所	会議内容
2012/1/8	東京医科歯科大学	研究紹介とスクリプト勉強会

④ メーリングリストによる意見交換 (メーリングリスト開設から 2012 年 11 月末時点)

(212)回

⑤ WG の今後の活動方針・抱負など

現在まで 13 テーマについて申請が許可され、諫田先生による UR-BMT vs 1 抗原不適合血縁について検討し Leukemia に掲載された。HLA アレル型適合 UR-BMT を優先すべきであり、状況によっては、A,DR 座血清型不適合血縁者も選択することになることを明らかにした。その他解析が終わって学会発表、執筆準備中が数件ある。データクリーニングや整理の段階で止まっている研究あったが、共同研究者の援助などによりこれから研究が進むものと考えられる。今後も質の高いソース別の移植成績出すことが本 WG の役割であり、その特徴であるすべての疾患 WG と縦糸で、すべての合併症 WG と横糸で関係していることを逆に利用して、必要に応じて他の WG との調整を取り必要なデータを出して行きたい。